

聖地のこどもニュース

オリーブの木

No. 77

2020年8月



▲エルサレム新市街。マスク着用は義務とされ、違反すれば罰金が科される。

エフエタ聴覚障害児学院のシスター・ララから電話が入りました。「コロナ禍での聴覚障害児教育に不可欠なフェイスシールドとマウスシールドが日本で手に入るでしょうか？」ベツレヘムではフェイスシールドはあっても非常に高価、透明のマウスシールドはそもそも存在しないそうです。10日間探し続け、フェイスシールド400枚、マウスシールド300枚を卸値段で買うことができました。次は届ける方法です。郵便局も民間運送会社もイスラエルへの国際小包を受け付けておらず、日本→ヨーロッパ→エルサレム/ベツレヘムなら航空便が可能と分かりました。そこで、小包を先ずイタリアにあるエフエタの母体である修道院本部に送り、そこからベツレヘムに転送することにしました。無事に届けられますように！

イスラエル・パレスチナでは、感染予防のための物資が足りず、特に教育現場でクラスターが発生しています。聖地のこどもたちのために引き続きご支援をお願いいたします。そして皆様も、どうぞご自愛ください。

井上 弘子



認定NPO法人

聖地のこどもを支える会



これは、JANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック 2012」マークです。JANICの「アカウンタビリティ」基準の4分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

事務局 〒164-0003 東京都中野区東中野 5-8-7-502

Email ispalejpn@gmail.com

TEL/FAX 03-6908-6571

ご支援は… 郵便振替 00180-4-88173 加入者名 「NPO法人 聖地のこどもを支える会」

当法人へのご寄付は、税制優遇が受けられます。

<https://seichi-no-kodomo.org>

封鎖が続く聖地 学校再開に希望を

シスター・ララ (エフェタ聴覚障害児学院)

日本の皆様、

前回のお便りで、「ベツレヘムはコロナから守られました!」とご報告しました。確かにあの頃は、3月からの緊急事態宣言や外出禁止令が解除された時で、それまで不自由な生活を耐えたおかげで、感染者数も限定的ですみ、大きな経済的打撃にもかかわらず、「さあ、これから頑張ろう!」としていた時でした。

しかし、あれからすぐに、そしてヨルダン川西岸地区全体に感染が広がり、特にベツレヘムの南にあるヘブロン、北にあるジェリコはコントロール不能になって都市封鎖の措置が取られました。人々があまり感染予防対策に注意せず、医療体制も非常に脆弱だからです。

また、すべての教育機関、宗教施設、商店、レストランなどが再び閉鎖されました。

そんな中で私たちエフェタ学院全職員／教員は、オンラインで(スマホ、タブレット、パソコンなどを使って)生徒や保護者たちと頻繁に連絡を取り、幼稚園から高校までそれぞれの学年に応じた教育プログラムを送り続けてきました。生徒たちも両親たちもほんとうによく協力してくれましたが、もちろんその効果は限定的でした。

今、町そのものの封鎖が続いている中でも、9月になったら学校再開が許されます。しかし私たちはここでまたいくつかの大きな問題にぶつかっています。この9月から新学年(2020/2021)をどう始めるか先が見えないからです。

① 当校の多くの生徒が住んでいるヘブロンの感染症がコントロールできていない状態では、児童の通学が困難です。

② 両親が失業して授業料を払えません。

③ したがって学校は、教職員、特に聴覚障害児教育のスペシャリストに給料を支給できません。(4月からは彼らに支払うべき給料の半分しか払っていないのです。)

④ 難しい感染予防対策。実際に授業ができるようになったら、どのように感染を防ぐかも大きな問題です。生徒も先生も口にマスクをしていては、教育はできません。透明のフェイスシールドとマスクシールドは必需品ですが、イスラエル／パレスチナ

では現在手に入れることがとても難しいのです。

9月には私たちは、まずは、再びリモートでの授業から始めなければならないでしょう。実際に授業が始まったら、遅れを取り戻さなければなりません。そして両親たちと職員たちも助けを必要としています。

私たちは現在難しい挑戦を強いられています。(ウィルスは目に見えないので、どこから来てどこへ行くか分からないからです。)今エフェタはこの状況の中で孤独な戦いを強いられているように感じています。

しかし、私たちは神様に全幅の信頼をおかなければなりません、神様の慈しみは大きく、どんなに大変な道でも希望をもって進むように背中を押して下さいからです。神様が、あらゆる困難を克服させて下さいますように。

日本の皆様の日頃のご支援を感謝すると共に、ご健康をお祈りいたします。



▲ エフェタ学院の子どもたち。学びも感染防止も!

イスラエル・パレスチナの感染状況 8月20日現在

パレスチナ(ヨルダン川西岸地区 人口:約511万人)

2月半ばから、外国から来た巡礼者によってコロナがもたらされて以来、ベツレヘムはすぐに封鎖、ずっと感染者数が数十人に押さえられていた。教育機関、宗教施設、レストラン、ホテル、商店などすべて封鎖。

4月に封鎖が解除されると徐々に増加、特に6月半ばから急カーブで増え続け、8月20日現在では、17,989人、死者数は、約120人を越えている。教育施設は一度再開されたものの、クラスターの発生などで、再び閉鎖するなど、非常に不安定な状況が続いている。

医療機関が脆弱なので、危機感が高まっている。しか

も感染しても公的な援助はほとんどなく、失業率は高まるばかりだ。

イスラエル(人口:約920万人)

感染者数:約99,599人 死者数:約795人

人口が日本の1/13しかないイスラエルの感染者数は、人口比で見ると、非常に多い。しかし、死者数は795人と、わずか0.8%。(日本は2%) イスラエルの医療水準の高さを示しているのかも知れない。

政府は当初、かなり厳しい都市封鎖をして新型コロナウイルス感染の封じ込めに成功したように思えたが、経済の再生を急ぎ封鎖を解除した結果、現在第2波と思われる感染拡大に直面している。1年間に3度も総選挙をしたり、首相の汚職問題があったりして、政局が安定せず、支持率が急落。さらに政府のコロナ対策への不満から首相の辞任要求など、エルサレムでもテルアビブでも抗議デモが行われている。失業率が高まり、特に若者世代が貧困化している。

聖地の教育支援への皆さまのご支援をお待ちしています！

『新型コロナウイルスと中東情勢』 出川展恒氏 オンライン講演会

新型コロナウイルスによる感染拡大で、当NPOの青少年交流プロジェクトも断念せざるを得なくなった中で、NHKの出川展恒解説委員による講演会を7月19日(日)、ウェビナーというインターネットの機能を使ったオンライン形式で開きました。テーマは「新型コロナウイルスと中東情勢」。講演の要旨は以下の通りです。



コロナが世界に与えた影響

世界保健機関 (WHO) が、新型コロナウイルスの世界的な大流行を「パンデミック」と宣言して4か月。このウイルスの猛威はとどまることを知りません。7月19日時点の世界の感染者数は1420万人、死者は60万人に達しています。最も多いのは米国で360万人、死者16万人。感染者が1日に1万人という州が複数あるほどです。次がブラジルで207万人、死者7万8千人以上。貧しい人々が密集して暮らす地域を中心に感染が広がっています。3位はインドで、感染者は100万人を突破しました。ブラジルは、ボルソナロ大統領がコロナを「軽い風邪」と軽視して、そもそもきちんとした対策をとっていませんが、米国、インドでは経済活動を再開させたことが再び感染を拡大させたと指摘されています。現在、南アフリカで感染者数が急激に増えて35万人に達し、世界第5位に浮上しました。政府は、外出や経済活動の制限で貧困者の生活が苦しくなったとして、

制限を解除したところ、感染者が急増し、再び夜間外出禁止令を出しました。経済活動の再開で感染が急増する事態を受けて、WHOは、7月13日、「多くの国が誤った方向に向かっている。感染対策を徹底しなければ、事態はさらに悪化する」と強く警告しました。

国連のグテーレス事務総長は、「コロナは既にあった不平等、不正義を悪化させている」と強調しました。貧困のため医療が遅れ、食糧不足で犠牲者が増える途上国や紛争国は悲惨なことになりかねず、手遅れにならないように手を打たなければ、コロナ禍は何年続くかわかりません。しかし、どの国も、自国の対策で手いっぱい、アメリカのトランプ政権にいたっては、「WHOは中国に支配されている」として、WHOからの脱退を通告しました。感染は国境を越えるので一国だけの問題ではありません。世界的な感染拡大を抑え込めなければ、来年、東京でオリンピックとパラリンピックを開くこともできなくな

るでしょう。

中東ではどうなっているか

中東でも、今、感染が急拡大しています。最も感染者が多いのはイランです（7月19日現在27万1千人）。2月中旬、中国の武漢から帰国した人が最初の感染者で、その後、一気に感染が広がったため、政府は3月以降モスクを閉鎖し、企業や商店の営業を停止しました。4月中旬以降、経済活動を再開したところ、再び感染が拡大してしまいました。イスラム教シーア派のネットワークを通じて、イランから周辺の国々に拡大しました。また、サウジアラビアへの巡礼やヨーロッパとの人の往来も、感染ルートとなっています。中東で、イランに次いで感染者が多いのは、サウジアラビアの24万8千人、3位がトルコの21万7千人です。そもそも中東社会は感染しやすい文化です。挨拶の握手・ハグ・キス、集団礼拝・巡礼、そして、高い喫煙率や水たばこなど、何かと接触や「密」が多い。また、外国人労働者の住環境は「3密」そのものです。

一方、内戦や紛争が起きている地域で、感染爆発が起きることが懸念されています。イラクでは、3年前、過激派組織イスラム国（IS）に対する勝利宣言を行いました。コロナ感染の混乱に乗じて、ISの残党らがテロを再開させました。イエメンでは、5年前から内戦が続き、「世界最悪の人道危機」と呼ばれる状況ですが、医療体制が崩壊し、感染の実態さえ把握できなくなっています。

イスラエル・パレスチナの現状

イスラエル・パレスチナ情勢ですが、1月末にアメリカのトランプ大統領が「世紀のディール」と自賛する独自の中東和平案を発表しました。しかし、極端にイスラエル寄りの内容で、パレスチナ側が受け入れられるはずありません。和平交渉の柱は、「領土の確定」、「聖地エルサレムの帰属」、「ユダヤ人入植地の扱い」、「パレスチナ難民の扱い」です。トランプ案では、パレスチナ側が将来の独立国家の領土と位置づけるヨルダン川西岸地区は、大きく削られて寸断され、将来の首都と主張する東エルサレムは、丸ごとイスラエルの領有とされ、難民は、故郷への帰還

権を否定されています。パレスチナ人が悲願としてきた独立国家には程遠く、国際社会が支持する「二国家共存」が実現する可能性はありません。

今後の懸念材料は、イスラエルのネタニヤフ政権が目論む、ヨルダン川西岸地区のユダヤ人入植地などの併合と、パレスチナ側に「もはや武装闘争しかない」という機運が強まることです。

西岸の併合は、120カ所、人口約40万人を抱えるユダヤ人入植地と隣国ヨルダンとの国境地帯、合わせた面積が西岸の約30%をイスラエル領に編入するというもの。それは、ネタニヤフ首相の支持基盤である入植者や右派勢力にアピールするもので、複数の汚職の罪で起訴され、裁判中の自身の政治生命を維持したい思惑があると見られます。ただし、目標実現にはアメリカの支持が不可欠で、トランプ大統領の在任中に併合を果たしたいところです。5月に発足した「大連立政権」に参加した野党代表のガンツ元軍参謀総長は、西岸の併合に慎重ですが、トランプ案には賛成しています。ガンツ氏は、選挙戦で、ネタニヤフ氏とは連携しないと公約しながら、「コロナ危機に挙国一致で対応するため」として、「大連立」に合意しました。来年11月には、ネタニヤフ氏と交代して首相に就くことになっており、連立政権を離脱してまで併合に反対することはなさそうです。

しかし、併合が実行された場合、パレスチナ側は、激しく抵抗すると予想され、国連のグテーレス事務総長も、国際法違反だとして撤回を求めています。アラブ諸国も反対しており、とくにヨルダンは、平和条約の破棄も示唆しています。

ネタニヤフ首相は、7月1日に予告していた併合計画の発表を見送りました。連立政権内で意見の一致ができていないことやトランプ政権の承認が得られていないためと見られます。今後の注目点は、汚職裁判と米大統領選の行方です。民主党のバイデン氏は、「大統領に就任すれば、和平を崩壊させる一方的な行動をとらないよう、イスラエルに圧力をかける」と言っています。

パレスチナ問題は、今後何十年も解決できないかも知れません。日本としては、国際法に違反する既成事実の積み重ねに、明確な反対の意思を示すとともに、パレスチナの人々の暮らしと自立を支援し続

けることが必要だと思います。

質疑応答

——巡礼者からの感染という点で、サウジアラビアへの巡礼というのはわかるが、イランと他の中東諸国との往来は多いのか。

出川 サウジアラビア、バーレーン、カタールなどにもシーア派の人々がいて、イランのシーア派聖地との往来がある。シーア派ネットワークを通じた感染があると考えられる。

——イスラエルのネタニヤフ首相が有罪になったら失職するのか。

出川 判決が出るまで何年もかかるので、現政権中に失職することはないと思う。

——トランプ案をパレスチナ側は拒否するが、アラブ側から和平案が出ないのはなぜか。

出川 これまでサウジアラビアやアラブ連盟から、イスラエルが、1967年の第3次中東戦争で占領した領土から撤退し、パレスチナ国家とする和平案が出されたが、イスラエルは米国以外の仲介には、聞く耳を持たないので、実際に意味のある和平案とはならない。

——キリスト教福音派はなぜイスラエル支持なのか。併合の思惑は何か。

出川 ヨルダン川西岸地区は、「神がユダヤの民に与えた神聖な土地」という宗教的信念があり、それがイスラエルによる併合の支持につながっている。

——併合が国際法違反で認められないなら、入植者はどうなるのか。

出川 原則としては、イスラエル領に移住するべきだ。入植地を残すなら、イスラエル領との「領土の交換」という選択肢もあるが、パレスチナ側が同意するかどうかが条件となる。

出川展恒（のぶひさ）氏：1985年、NHK入局。91～92年テヘラン、94～98年エルサレム、2002～06年カイロの各支局長を経て06年7月から中東・アフリカ・イスラム地域担当の解説委員を務める。



▲ 新型コロナウイルス感染の拡大により閉鎖されている聖墳墓教会から、祈りを終えて出てきた神父や修道士たち。

イスラエルの入植地併合、実現なら「死に体」和平にとどめ

村上 宏一（当法人理事・元朝日新聞中東アフリカ総局長）

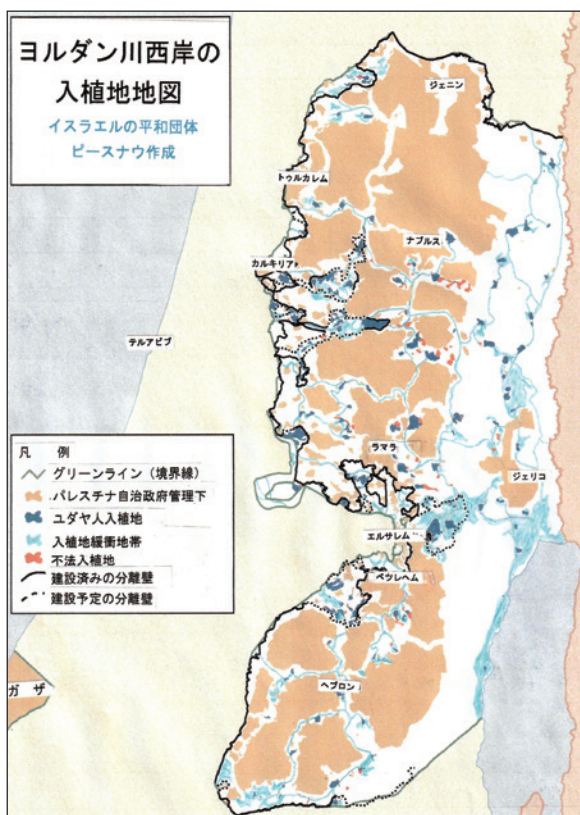
イスラエルでは、3月の総選挙後も組閣が難航し、コロナ禍という危機に対応するためという名分で、ようやく大連立内閣が成立したことを前号で報告しました。首相続投となったおかげで、汚職容疑による裁判にかけられながらも失職せずにすんだネタニヤフ氏が目標に掲げるのが、ヨルダン川西岸のユダヤ人入植地などの併合です。占領地への入植は国際法に違反するとして国際社会から非難されながら、イスラエルは次々に入植地を増やし、既にパレスチナ国家を形成するための領土を侵食しています。そのうえ併合計画にはヨルダンとの境界地帯のヨルダン渓谷も含まれ、合わせた面積は西

岸全体の約3分の1。それがイスラエル領になるわけです。寸断された領土での国づくりをパレスチナ側が受け入れるわけはなく、計画が実行に移されれば、1993年のオスロ合意で灯された和平という希望の火は消えてしまいそうです。

寸断されたパレスチナ自治区

次ページに示した地図を見てください。これはピースナウという、イスラエルの平和団体が作ったヨルダン川西岸の地図です。

ピースナウは1978年に創設され、以来一貫して



イスラエルの占領地からの撤退、アラブ諸国そしてパレスチナとの交渉を通じた和平を主張してきました。特に入植地建設に批判的で、入植地ウォッチングを続けています。この地図はその成果です。

地図の色分けがわかるでしょうか。外枠が、緑色には見えませんが「グリーンライン」つまり、1948年5月に勃発した第1次中東戦争が翌49年6月に停戦した時の停戦ラインです。ヨルダンの統治下にあったのを67年の第3次中東戦争でイスラエルが占領しました。この境界線は、かなりの部分が建設済みの分離壁を示す黒線と重なっています。分離壁は、テロリストがイスラエルに侵入するのを防ぐという目的でつくられたのですが、パレスチナ側が将来の国境と見なしているグリーンラインの内側に建てられた部分が目につきます。特に入植地群がある地域では、点線で示された建設予定の分離壁と共に、西岸に深く大きく食い込んでいます。

薄茶色の地域がパレスチナ自治政府管理下にある自治区。濃い青色がユダヤ人入植地。そして、

ちょっと見にくいかもしれませんが薄い水色で示されたのは英語でSettlements Municipal Area、入植地行政地域とでも言いますか、要するに入植地を結ぶ道路と合わせてパレスチナ人を近づかせない緩衝地帯を形成しているのです。所どころに見えるオレンジ色の点々は不法入植地、つまりイスラエル政府も許可していないものですが、入植者からすれば前哨基地と呼ぶべきもので、やがて入植地と認められる例が過去にいくらでもありました。

自治政府の実権は西岸の18%

1993年のパレスチナ暫定自治協定（オスロ合意）でパレスチナ自治政府が発足し、交渉を経て5年後に最終地位協定を成立させ、パレスチナ国家をつくることになっていました。交渉で話し合うのは▽エルサレムの帰属（イスラエル側が不可分の自国の首都と宣言、パレスチナ側は東部分を将来のパレスチナ国家の首都と見なしている）▽国境の画定▽入植地の扱い▽パレスチナ難民の扱い、などです。

自治政府は発足したものの、西岸の中で行政も治安も管理を任されたのは、地図にあるジェニン、ナブルス、トゥルカレム、カルキリア、ラマラ、ジェリコ、ベツレヘム、ヘブロン、の8都市を核とするA地区と呼ばれる領域だけで、西岸の面積の約18%でしかありません。東エルサレムにパレスチナ人居住区が集中しているにもかかわらず、イスラエルが一方向的に統合を宣言したエルサレムは含まれていません。

薄茶色で示されたパレスチナ自治区の残りはB地区と呼ばれ、自治政府は行政権を任されただけで、治安はイスラエル軍の管理下に置かれました。その面積は西岸の約22%。A・B合わせても40%です。残る60%はC地区と呼ばれ、すべてイスラエル軍の管理下にあります。水源や軍事演習地を押さえ、入植地を取り巻いてその安全を守っているのです。パレスチナ住民は軍の許可なしには家の建設や道路補修、井戸掘りなどもできず、逆にイスラエル側の入植地や道路建設のために農地やオリーブ畑をつぶされることが、いくらでもあります。

また、イスラエル軍はA地区に侵入してはいけな
い約束なのに、第2次インティファダ（注）が激し
くなると、テロリスト搜索の名目でA地区に入ってく
るようになりました。当NPOのスタディ・ツアーで
ベツレヘム市内の難民キャンプを訪れた日本の若
者が、住民から兵士による真夜中の侵入が何度も
あったことを聞かされました。

オスロ合意から27年。国境の画定どころか、和平
交渉は止まったきりで自治区の色分けは固定され
たまま。入植地は一方的に拡大されています。

（注）インティファダ：対イスラエル抵抗運動のこ
と。1987年12月に占領下だったガザ地区で始まり、西
岸にも広がった。投石で武装した軍に対抗する様子が
国際世論の共感を呼んだ。2000年9月にイスラエルの
右派政党リクードのシャロン党首が、エルサレム旧市
街のイスラム教聖地に武装警官を引き連れて入場した
のに反発したパレスチナ人と治安部隊との衝突から始
まったのを第2次インティファダと呼ぶ。銃も使って
の抵抗にイスラエル側の反撃も厳しさを増した。

実質的には併合は既成事実

伝えられている併合計画の対象は、西岸地図上
の濃い青色の入植地だけでなく、薄水色で示された
入植地を囲む「緩衝地帯」と入植地を結ぶ道路、そ
れに、西岸東端のヨルダン渓谷です。この渓谷を押
さえれば、イスラエル領はパレスチナ領域を完全に
囲むことになります。

ネタニヤフ首相が、入植地などにイスラエルの主
権を適用するための立法手続きを開始する、と予告
していた7月1日は何の発表もありませんでした。
併合計画にはパレスチナ自治政府はもちろん、国連
のグテーレス事務総長をはじめ国際社会の多くが、
国際法に違反するとして反対しています。1月に米
国のトランプ大統領が発表した中東和平案は、東エ
ルサレムや入植地の併合を認めるなど極めてイスラ
エル寄りで、ネタニヤ首相の併合意欲を後押しした
ものでしたが、その米国も今のところゴーサインを
出していないようです。

併合に反対する国際世論は、占領地の併合を禁
じる国際法に違反することのほか、パレスチナ国家

の建設により二国家共存を目指すという和平の根
幹を損なうものだとは批判しています。正論です。し
かし、正論は述べても入植地の建設を阻止する動き
はありませんでした。

筆者がエルサレムで1993年のオスロ合意以後
の和平交渉取材していたころは、西岸の入植者数
は10万人ぐらいと言われ、イスラエル政府は許可な
しに入植する動きをけん制していました。入植地は
パレスチナ自治領域を侵食するわけですから、交渉
を進めようとしている時に一方で既成事実をつくり
あげる行為は合意に反するということが、まだ意識
されていました。しかし、1996年以来、イスラエル
政治の実権をほぼ握り続けてきた右派リクード政
権下で、入植地はどんどん拡張し、今や120カ所以
上、人口は約40万人です。

改めて地図を見てください。先に説明したよう
に、入植地とその周辺地域、そして道路網は、パレ
スチナ自治領域のA地区を成す8都市を完全に切
り離し、B地区も分断されています。エメンタール・
チーズに似た穴だらけの様子を、パレスチナ人は自
嘲気味に「穴あきチーズ」と呼んでいました。

いま私たちは、イスラエル政府の併合「計画」を
問題にしていますが、西岸の多くの部分が「事実
上」併合されていると言ってもいいほどのです。

この現状を覆し、実質的なまとまった領土と主権
を持つパレスチナ国家をつくるためには、たとえ全
てではなくとも入植地を撤去するしかありません。
入植地撤去の前例はあります。2005年にリクード
政権のシャロン首相は、ガザ地区にあった21カ所
（住民約8千人）のユダヤ人入植地の強制撤去に踏
み切りました。治安の負担が大きいくだけで戦略的価
値が小さく、ユダヤ人の歴史的ルーツという点で西
岸ほど重視されないという背景がありました。

現在の規模に膨らんだ西岸の入植地撤去は無理
だというなら、国際社会の非難を無視して既成事実
を積み上げてきたイスラエルの思う壺です。この既
成事実が固定されてしまったら、もはや「死に体」と
いわれるほど交渉が行き詰まっているパレスチナ
和平にとどめを刺すものと言ってもいいでしょう。

2020年度 総会のご報告

当法人の2020年度通常総会が去る7月18日(土)15時～16時30分まで、2019年度の事業報告書および決算書、2020年度事業計画書および予算書が承認されました。例年より1カ月遅れで、新型コロナウイルスの感染を防ぐためインターネット上でのテレビ会議となりました。

2019年度 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	508,000	
賛助会員受取会費	7,141,991	7,649,991
【受取寄付金】		
受取寄付金	3,179,493	
施設等受入評価益	1,620,000	
ボランティア受入評価益	120,000	4,919,493
【受取助成金等】		
受取助成金	477,808	
受取補助金	700,000	1,177,808
【事業収益】		
参加料金収益		1,406,914
【その他収益】		
受取 利息	12	
為替 差益	488	
雑 収 益	34,500	35,000
経常収益 計		15,189,206
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	1,852,689	
ボランティア評価費用	120,000	
人件費計	1,972,689	
(その他経費)		
業務委託費	124,385	
諸 謝 金	844,121	
印刷製本費(事業)	459,781	
会 議 費(事業)	32,162	
旅費交通費(事業)	1,367,519	
旅費海外(事業)	1,445,180	
車 両 費(事業)	61,397	
通信運搬費(事業)	721,528	
消耗品 費(事業)	199,795	
賃 借 料(事業)	259,995	
施設等評価費用	180,000	
租税 公課(事業)	2,400	
支払手数料(事業)	28,418	
支払助成金	3,197,950	
その他経費計	8,924,631	
事業費 計		10,897,320

【管理費】		
(人件費)		
役員 報酬	2,340,000	
給料 手当	979,329	
法定福利費	396,269	
退職給付費用	12,000	
通 勤 費	197,394	
人件費計	3,924,992	
(その他経費)		
印刷製本費	6,600	
会 議 費	25,908	
旅費交通費	95,454	
通信運搬費	235,553	
消耗品 費	347,190	
水道光熱費	60,000	
事務所家賃評価費用	1,440,000	
広告宣伝費	31,804	
諸 会 費	40,000	
租税 公課	800	
支払手数料	196,304	
為替 差損	8,642	
雑 費	400	
その他経費計	2,488,655	
管理費 計		6,413,647
経常費用 計		17,310,967
当期経常増減額		△ 2,121,761
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 2,121,761
当期正味財産増減額		△ 2,121,761
前期繰越正味財産額		2,448,959
次期繰越正味財産額		327,198

【活動計算書の注記】自主事業収益には、イベント収益を含む

支援団体・支援者のお名前

対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日(敬称略 匿名希望の方のお名前は省かせて頂きました。)

支援団体

愛徳カルメル修道会本部修道院
医療法人 かどもと眼科
栄光学園 愛の運動委員会
援助修道会六甲修道院
大阪聖ヨゼフ宣教修道会箕面修道院
幼き聖マリア修道会
カトリック葛西教会ゆりの会
カトリック片瀬教会
カトリック北広島教会
カトリック吉祥寺教会 聖地のこどもを支える会
カトリック吉祥寺教会 マリア会国分寺地区
カトリック金剛教会
カトリック鷺沼教会内古着プロジェクト
カトリック笹丘教会
カトリック・フランシスコ聖クララ会大修道院
カトリック松戸教会 コスモスの会
カトリック松原教会
カトリック瑞浪教会
カトリック煉獄援助修道会 管区本部
汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道会(倉敷)
厳律シトー会お告げの聖母修道院
厳律シトー会天使の聖母トラピスチヌ修道院
厳律シトー会燈台の聖母トラピスト大修道院
厳律シトー会那須の聖母修道院
坂出聖マルチン病院
サレジオンシスターズ管区本部
宗教法人 聖心会
宗教法人カトリックイエズス会
宗教法人カトリック女子跣足カルメル修道会
守護の天使の姉妹修道会
殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会
女子跣足カルメル修道会
女子跣足カルメル修道会 聖ヨゼフ修道院
女子跣足カルメル修道会十勝修道院
スタニスラス会 田中多美子
聖アンナこどもの家園児一同
聖地産品展示係
聖ドミニコ女子修道会青野木修道院
聖ドミニコ宣教修道会坂出聖マルチン修道院
聖フランシスコ病院修道会長崎修道院
聖ベネディクト女子修道院
聖母奉献修道会

絶えざる御助け聖母信心会
東京カルメル会 女子修道院
東京聖十字教会
ドミニコ会聖ヨゼフ修道院
日本キリスト教団 白鷺教会
日本基督教団 まぶね教会
ヌヴェール愛徳修道会
ノートルダム教育修道会
マリアの宣教者フランシスコ修道会
マリアの御心会
聖心の布教姉妹会 本部
目黒サレジオ幼稚園
横浜雙葉小学校 父母の会
レデンブトリスチン修道院(長崎)

(57団体 内匿名希望1 順不同)

支援者

Harvey Paul A.S.	石黒 亮	猪俣 武雄
KANG JULIE	石澤 雅士	今井 弘美
相葉 清美	伊知地 広美	今村 宏子
青山 博子	泉 知子	今村 鍊
青山 美恵子	磯谷 真理子	岩崎 正幸
赤崎 克俊	磯部 起与子	岩崎 守
秋山 佳穂	磯部 裕子	岩田 卓三
浅井 明子	磯部 雅子	岩本 憲嗣
浅沼 誠子	板橋 虎徹	翁 羽翔
芦川 恵美子	市川 黎子	上西 博
麻生 麗子	井手 公平神父	植村 惇子
安達 結実子	伊藤 勝子	臼井 信子
阿部 圭子	伊藤 多恵子	宇野 節生
天野 真理子	伊藤 夏代	梅原 彰
荒川 淑	伊藤 友香	浦田 むつみ
有田 美江	稲葉 健典	栄林 ヒサ子
安藤 眞樹	乾 盛夫	胡 美喜子
飯田 安	井上 静子	遠藤 恵美子
井口 美紀	井上 志帆子	遠藤 香恵子
池上 遥	井上 ちひろ	遠藤 久夫
石井 直子	井上 弘子	及川 幸子

大泉 廣	加藤 恵子	小林 徹也	園部 瑞穂	土屋 美和子
大岡 よし江	加藤 千恵子	小林 惇	高井 真悟	筒井 三喜子
大澤 由紀子	加藤 まゆみ	小林 美紗子	高馬 和子	角田 和子
太田 あき代	門倉 昭博	小林 麗子	高岡 節子	手嶋 直美
太田 晴子	門口 敏子	小宮 華江	高島 友子	寺尾 澄江
大谷 郁子	加納 貞彦	小谷野 泰	高島 文枝	天明 恭子
大谷 恵美子	蕪木 利夫	近藤 加奈子	高野 千草	出川 展恒
大西 茂雄	鎌田 英明	近藤 緑	鷹觜 達衛神父	得田 照
大西 美恵	鎌田 まさ子	後藤 幸	高橋 和子	徳能 恵子
大野 直美	河田 裕子	後藤 秀次	高橋 佳代子	富崎 之夫
大野 光子	川村 栄子	後藤 礼子	高橋 登志子	富田 道代
大八木 汜子	川本 和子	後藤田 遊子	高橋 裕子	内藤 歌子
岡 晶子	瓦 妙子	西勝 健夫	高山 京子	内藤 和子
岡島 順子	神野 裕美	斉藤 直子	田川 照子	中井 さつき
岡田 光浩	神原 尼雛子	坂井 陽子	田口 幾子	中里 光代
岡部 浩典	鏡原 えり	榊原 祥子	武田 七七子	中澤 リナ
岡本 みどり	木内 一美	坂口 泰子	武田 英夫	中島 紀史子
小川 千枝子	北 達夫	坂本 雄郎	竹原 芳子	中島 敏夫
奥村 聡	北垣 朋絵	坂本 章	竹脇 美帆子	中島 聖子
尾崎 一三	北楯 暢子	坂山 鉄志	田代 智子	中村 季子
尾崎 裕子	北原 豊子	佐々木 ふみ子	田制 則子	中村 寿美
小田 淳	木村 護朗	薩田 寿隆	城 トミ子	中本 徹信
小田 功司	木村 聡子	佐藤 克裕	立林 久美	中本 徹信
小野 修	木村 浩之	佐藤 光子	田中 さわこ	中山 宏
小野 弘美	木村 靖子	佐藤 保正	田中 節子	中山 晃
尾本 由美子	喜山 聖子	佐渡 一邦	田中 淑子	中山 夕里亜
小山田 匡宏	国峰 恵子	佐野 澄子	田中 弘子	長井 外美子
恩地 節子	窪田 淑子	澤 美由紀	田中 美帆	長坪 光
海堀 真紀	熊谷 マリ子	島田 ミサオ	田中 博	長野 浩二
垣内 紀代	桑田 治夫	島田 みち子	谷 ちあら	永吉 恵子
柿崎 ゆか子	倉田 昌子	清水 紀代子	谷 弘子	新居 孝彦
葛西 咲子	栗栖 徹	白柳 隆明	谷口 寿美枝	西田 百合子
笠松 仁美	黒滝 津哉子	白水 明代	谷澤 まり	西原 和子
榎谷 健	黒田 道子	菅野 滋子	谷山 正恵	西村 拓生
柏 恵津子	小出 宏子	助廣 弘子	玉川 幸子	野口 裕之
柏 貴夫	河野 みち子	鈴木 幸子	玉木 美都江	野田 征子
片岡 万里	小坂田 さち子	鈴木 登喜子	田村 久恵	野村 智美
加地 貴美子	小塩 恒子	鈴木 典子	大和 四夫	野村 泰樹
勝田 いつ子	古杉 絢	関 安幸	伊達 由美子	服部 英子
勝原 孝子	小西 一枝	関口 素子	柘植 薫	橋本 和子
加藤 喜代子	小西 羊一	曾根 和子	土屋 道子	波多江 優子



濱口 秀昭	古田 瑩子	向井 喜代美	宿澤 恵子	吉武 尚子
濱中 智子	古本 佳世子	向井 純子	山内 春治	吉田 恵子
Sr.早川 昌江	古屋 恵子	村上 宏一	山岡 節子	吉田 とし子
林 香保里	岩橋 龍男	村上 則子	山口 裕子	吉田 三代江
林 裕美子	星 昇次郎	望月 美代乃	山下 るみ子	吉田 良子
葉山 文子	星村 美絵子	本橋 淑子	山田 涼華	米嶋 洋子
原 桂子	堀 秀樹	森 恵子	山田 千秋	ラザフォード 貴美子
原科 節子	堀 正巳	森川 久美子	山田 百華	渡邊 こすえ
半田 和巳	本田 江身	森本 明子	山田 康子	渡辺 上
東 純子	本間 早苗	森本 俊子	山本 恵美子	渡部 朋子
平賀 徹夫司教	本間 攝子	森谷 啓子	山本 勝也	渡邊 公伸
平木 朋世	馬越 由美	薬師寺 陽子	山本 幸子	渡辺 陽子
深澤 美知子	眞下 まゆみ	谷島 綾子	横道 昭光	渡邊 禮子
深田 久子	増満 由美子	矢島 友子	横山 真希子	渡部 美佐子
深田 莉映	松崎 治男	保尾 真紀	吉川 英子	渡部 満
福井 潔	松山 純子	安田 美知子	吉川 陽子	和田 昌子
福崎 順栄	三浦 和子			
福島 由香子	三上 成子			
福瀬 くに子	三島 八重子			
福田 青柳	三須 光好			
福田 幸子	水野 眞由美			
藤井 猛史	溝口 由美子			
藤田 能孝	溝口 泰子			
藤村 栄三郎	簗島 すみれ			
Sr.藤本 保子	宮川 園絵			
藤原 治	三宅 哲子			
藤原 伸子	宮澤 悦子			
藤原 真理子	宮下 幸恵			
淵上 恂子	宮野 美智子			
淵上 順子	三好 和枝			

(376名 順不同)



* イスラエル・パレスチナでの新型コロナ感染が収まらず、また郵便事情の厳しさもあり、エルサレムの連帯事務局からの報告が遅れています。昨年度、皆様のご支援を届けることができた生徒数・学校名は、次号でご報告させていただきます。ご了承ください。

遺贈・相続寄付をご検討の方へ

あなたの財産、そして大切な方からの遺産をイスラエル・パレスチナの子どもたちの教育支援に役立てませんか？

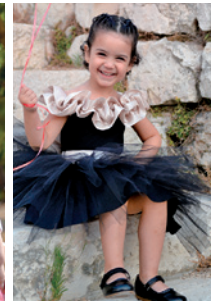
当法人では遺産・相続財産のご寄付も、ありがたく頂戴しております。将来、平和の担い手となるイスラエル・パレスチナの子どもたちの教育支援や国際交流事業などの活動に使わせていただきます。

**聖地のこどもを支える会は、
認定NPO法人です。
ご遺族による相続財産からのご寄付は
税制優遇の対象となります。**

遺贈・相続財産の寄付に関心のお持ちの方は、
当法人事務局までお問い合わせください。

TEL.03-6908-6571

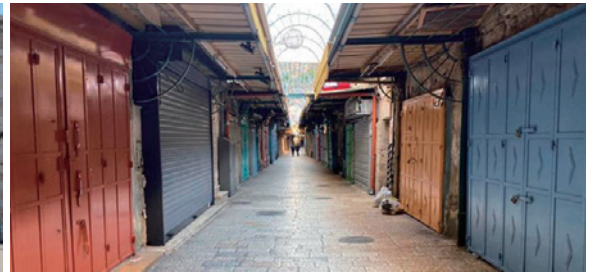
街で出会った子どもたち



▲ 山の上にある町ラマラで。(右も)

▲ お祝い日におめかしの子どもたち (ヨルダン川西岸地区)

外出規制のエルサレムで



▲ 左: ジャッファ門と旧市街の城壁。右: 聖墳墓教会へ続くクリスチャン通り。どちらも、いつも人通りが絶えない賑やかな場所。



▲ 旧市街、十字架の道 (第5留) シスターや神父もマスク。



▲ 旧市街、木陰で祈りを捧げるイスラム教徒の婦人たち。



▲ 旧市街、十字架の道 (第3留付近) を警備するイスラエル軍の兵士たち。



▲ 超正統派のユダヤ教徒、暑いのにマスクをして毛皮の帽子を被り、外套も着ている。

写真撮影 ダリーヌ・ラマ、ヤクーブ・ガザウィ、浅野耕二、佐藤克裕

敵の敵は友?! 井上弘子

最近飛び込んできたニュースに驚きました! イスラエルとアラブ首長国連邦 (UAE) がトランプ大統領の肝いりで国交を正常化するとか!!

ペルシャ湾をはさんでイランと対峙する湾岸諸国の一角UAEは、パレスチナ支持よりも反イラン同盟の方を選んだ、ということのようです。ネタニヤフ首相が、イランをイスラエルの最大の脅威と主張し続け、トランプ大統領がそれを後押ししてイラン敵視

政策を取るようになったことはよく知られています。「反イラン」を軸にアラブ諸国のイスラエル包囲網に穴をあけるといふ〈外交の勝利〉をアピールしたいネタニヤフ首相と、この秋の大統領選を控えて、イスラエル支援でユダヤ人票を獲得したいトランプ大統領の思惑が見え隠れします。これでまたパレスチナの国際的孤立が深まり、平和への道が閉ざされるのか、あるいは、膠着状態の紛争問題に風穴があけられるのか? 「敵国」同士の突然の「国交正常化」、国際社会はどう反応するのでしょうか?